



一般社団法人 脳科学リハビリテーション協会

脳リハ協会

支援プログラム

児童発達支援

放課後等デイサービス

作成日 2026 年 8 月 18 日



理 念



個人の潜在した機能・能力を最大限に引き出し
克服できる心身機能の改善に努める

(解説)

本来“できる”のに“できない”状態になっている。

脳科学的根拠から正しい支援があれば“できない”状態から“できる”ことが増える

「生きがい・できる活動増加・社会生活の拡大」に根本的な機能改善から支援に努める。

個人因子：自分の意思を正しく示し健康寿命を伸ばす

環境因子：高校卒業後により良い心身機能から他者を理解した社会活動・参加へ

関係者因子：病院・園・学校・家族など子どもに関係する皆様と協力した支援

支援方針



十人十色、それぞれの特徴、ハンディキャップ、
強みを理解した適切な支援を心がける

「みんなちがって」いることが「普通」。「良い」、「悪い」もない。
体格や好きな色、苦手なこと、全て人それぞれ。これは一般の人と同じ。
ただ単に障がい児は少し突出した能力があるだけ。

「こだわり」

集中力に優れる。様々なことに興味を持ち集中を上手く利用

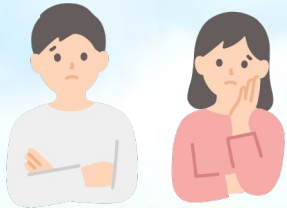
「多動・注意散漫」

興味関心が高い。1つの物・事に注意を上手く利用

「手足の不自由」

手足が良くなる → 意思表示、活動範囲・内容拡大

立てる・じっとできる → 視覚情報・認識・理解力が改善



保護者の希望に応じて療育や子育ての工夫・専門的な知識・技術を提供
いつでも気軽に相談できる環境を用意しています

営業時間

月・水・金曜日 8時15分～14時15分

火・木曜日 13時00分～17時45分

火・木 春・夏・冬休み期間 8時15分～16時00分

サービス提供（利用）時間

8時30分～12時30分

13時15分～17時30分

8時30分～12時30分

月

日

()



祝日も営業
しています



定休日

土・日曜日

夏季 (8月13日～15日)

年末年始 (12月30日～1月3日)



送迎実施

有

無



5 領域 脳リハ協会の支援



運動・身体能力向上 → 健康に生きる

自立する生活 → 生活の幅拡大・介助の軽減

健やかに暮らせる姿勢、体を整える

(例) 真っ直ぐ座る、体幹を良くする

生活習慣を身につける

(例) 片付け、睡眠、挨拶、金銭管理、整理整頓

新たな生活スキルを獲得

(例) トイレ・着替え・用意・準備などの自立



個人活動から集団活動へ 他者との関わり

(例) 1人では感じられない達成感を体験、順番を守る、譲り合い・助け合い

遊びの中で社会性を身につける

(例) 自分の思いを正しく伝える、相手の意見を聞き対応を変えられる

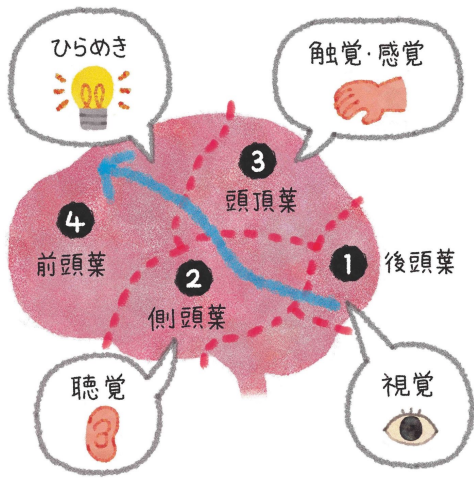
情緒の安定・コントロール

(例) 我慢が容易にできる精神思考処理を身につける
合理化、深呼吸、話し合い、受容、適応

相手を知る・理解を試みる → 良好な人間関係
柔軟な対応・自分の意思表示 → 社会生活拡大



5 領域 脳リハ協会の支援



正しい骨・関節・感覚運動の脳内統合

(例) 真っ直ぐ座る・歩く・走るための骨の位置修正
関節運動チェック・全身の感覚統合

運動・身体能力向上 → 健康に生きる

自立する生活 → 生活の幅拡大・介助の軽減

身体能力の向上・運動神経の発達から移動・動作レベル上昇

(例) トイレ・着替え・用意・準備などの自立



その子に合う補助具の選定・修正・作成

(例) インソールの作成、立位台・車椅子の選定・修正、お箸・鉛筆・スプーンの使用

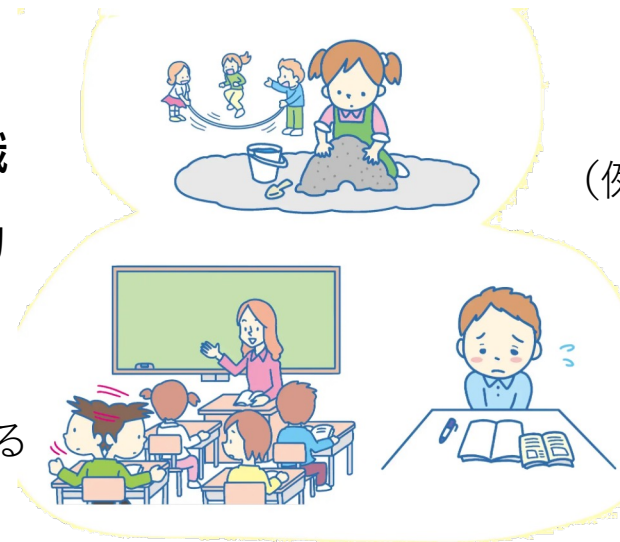
病気にならない身体作り、変形の防止、成長を真っ直ぐ促します

必要に応じて個別又は集団にて直接支援を行います



① 人・現象・状況を正しく認識

② 情報処理能力、問題解決能力



空間認知力を高める

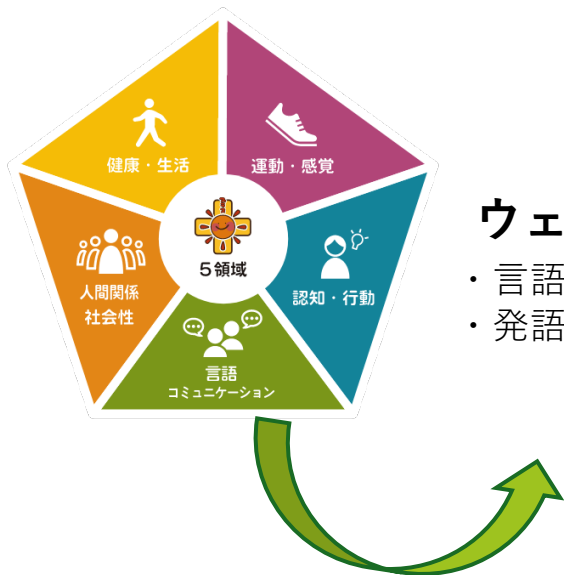
(例) 目的地の距離、時間の感覚、手段選択と行動を養う



“変化”に気づける認知行動療法

(例) 場所・時間・人の変化に合わせた思考力・推察力を身に付ける

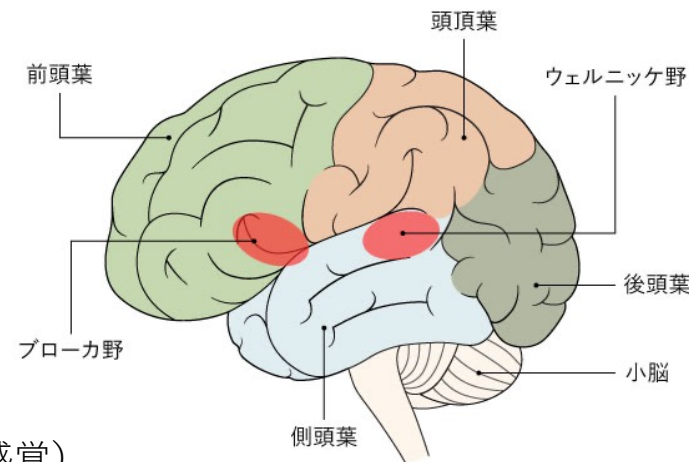
5 領域 脳リハ協会の支援



ウェルニッケ・ブローカを考慮した支援

- ・言語の意味・理解を深める支援
- ・発語・語句が正しく行える支援

※ウェルニッケ → 言語理解の脳の部位
ブローカ → 発語機能の脳の部位



読み書き能力の向上・学習を通じた支援

複数感覚から支援(多重感覚支援)

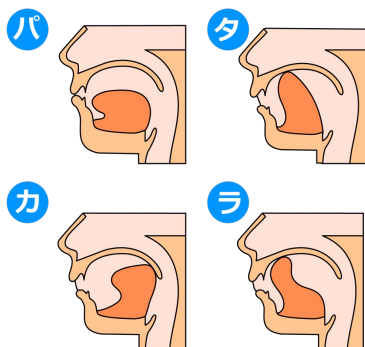
(例) 絵カード(視覚)、絵本(聴覚)、体動表現(体性感覚)

1 音・1 語・1 句を獲得

① 表現・意思表出 ② 集団活動・参加

嚥下・摂食・歌う楽しさ、発想・創造性へ

(例) 「舌」が使える、喉を使う、思考力などが身に付く



コミュニケーションの基礎 : 理解 → 発語 → 喉・舌の機能

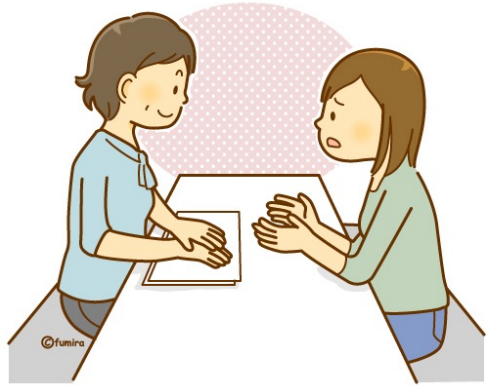
基礎に必要な機能 : 読み・書き・学習

大前提 : 文字の認識・手指の書く能力・記憶

1人、1人、個別に “ できる能力 ” を最大限に引き出す 5 領域支援

“ ハンディキャップ ” を適切な 5 領域支援から改善を図る

家族支援の内容



家族の子育て等に関する困りごとに真摯に対応
子どもの発達・遅延をいち早く気づき、家族に報告・助言
子どもの介助・食事・学習方法等、助言・提案



家族のレスパイト時間の確保

預かりニーズに対応した延長支援



きょうだい同士の交流機会

支援場面を通じた参考機会の提供



希望に応じて
保護者同士の交流機会



移行支援の内容



入学・進級・進学・就職の移行に向けた準備・移行先との情報共有・支援

子どもが利用する発達障がい者支援センターや地域生活支援拠点等との連携

個別のケース検討のための会議の開催・参加

0歳～18歳の期間で受けた支援によって進学・就業先が左右する

- ①「本人がどのような支援を受けるのか」良くも悪くもなる
- ② 園・学校・家族・事業者・医療者の支援方法の正誤

地域支援・地域連携

保育所・学校・事業所との情報共有・統一した支援方法から早期改善を図る

その他、地域のイベント参加、病院との情報共有や適宜意見書作成



職員の質の向上に資する取組

子ども支援・家族支援をそれぞれ10段階レベルアップシステム導入



- ・事業所における症例検討・研修会・開催
- ・事業所に講師を招いての研修会の実施
- ・相談支援初任者研修
- ・強度行動障害支援者養成研修
- ・児童発達支援基礎・実践研修



行事等



WINTER



SPRING



SUMMER



AUTUMN

季節感を味わう事の出来る行事等を開催・参加

1. 感性を豊かに養う
2. 創造性を自由に発想
3. 自主性を促せるイベント

お花見・夏祭り・お出かけ体験・ハロウィン製作・クリスマス会 年賀状作成・お正月遊び・豆まき（節分） ひなまつり製作 …等